

ライン導水ブロック〈小型水路内蔵型歩道境界ブロック〉

排水 NETIS掲載終了
KK-020004-VE

ライン導水ブロックは、全延長にわたって集水口をそなえ、内蔵管路で排水するため、エプロンが不要になります。この構造によって縁石まで車道横断勾配を一定とすることが可能であり、路側部の有効幅員が広がります。車道を通行する二輪車にとって、通行の安全性を確保することができます。

●特長

1. 有効幅員の拡大

街渠エプロンが不要となるので、路肩の有効幅員が拡がり、横断勾配折れが解消できます。また、舗装と街渠エプロンの境界で段差が発生しないため、自転車通行者、車両ともに安全に通行できます。

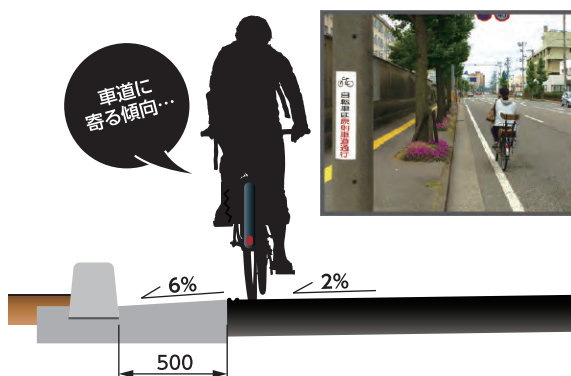
2. バリアフリー

ライン導水ブロックは、集水スリットによる連続集水により、路面より速やかに雨水を排除するため、水溜りを解消、水はねを防止できます。

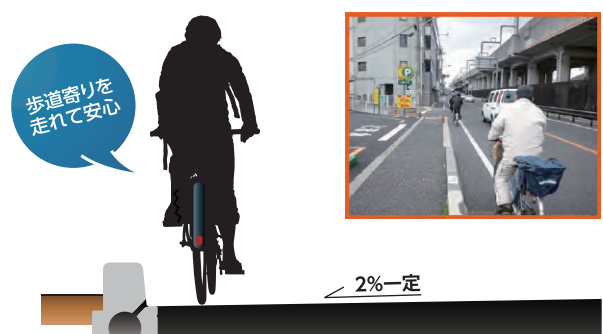


自転車走行空間を拡大し、安全な走行を実現

▼L型街渠

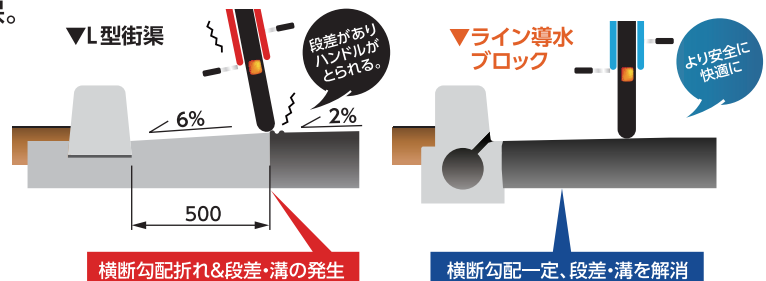


▼ライン導水ブロック



平坦性の確保、段差・溝の解消

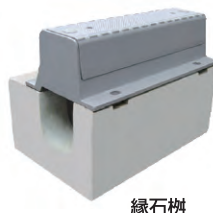
- 横断勾配折れがなくなり、**平坦性**を確保。
- 通行の妨げとなる**段差や溝**が解消。



滑りにくい構造

- 雨天時**エプロン部**での滑りを解消。
- 雨天時、**グレーチング**での滑りの問題を解消。

(「縁石柵」は車道に突出しない構造のため)

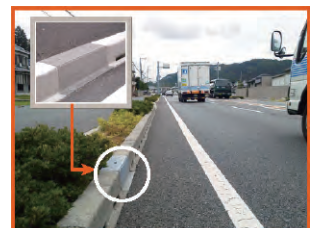


縁石柵

▼L型街渠+街渠柵



▼ライン導水ブロック+縁石柵



交差点部の水溜り解消

連続する集水スリットにより路面水を速やかに集水し、水溜りを解消します。



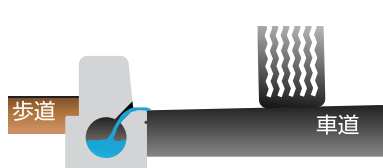
歩行者への水ハネ抑制

水溜りがなくなること、水ハネを抑制します。

▼L型街渠



▼ライン導水ブロック



施工性向上

縁石と水路が一体型でコンパクトなため、施工性が向上します。

●工期短縮

工種が少なく工期短縮ができるため、沿道住民への負担(騒音・振動)を軽減し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)も軽減できます。

▼L型街渠



【工 程】(基礎砕石工)

- ①型枠工(縁石基礎)
- ②コンクリート工(縁石基礎)
- ③養生→型枠脱型
- ④コンクリート工(エプロン)
- ⑥養生→型枠脱型

▼ライン導水ブロック



【工 程】(基礎砕石工)

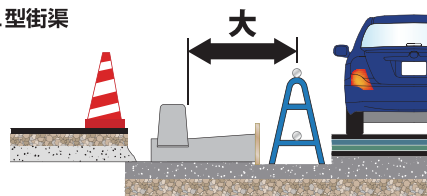
- ①路側工

1工程で縁石と水路の設置が可能

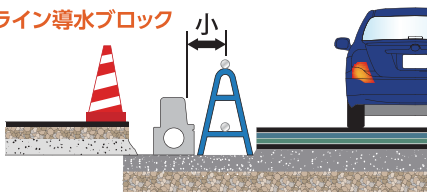
●交通規制範囲の縮小

交通規制範囲を縮小し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)を低減します。

▼L型街渠

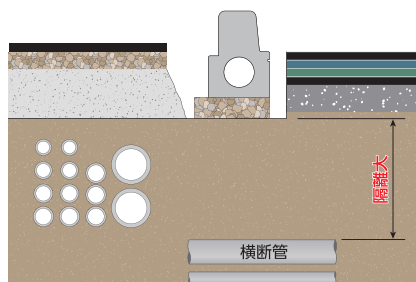


▼ライン導水ブロック



●地下埋設物との干渉リスク低減

断面がコンパクトなので地下埋設物との干渉リスクを低減できます。

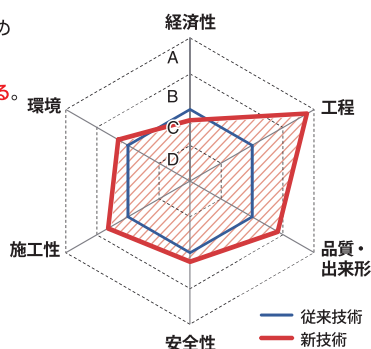


●総合評価

- 工 程** 現場施工時の工種が少ないため極めて優れる。
- 品質・出来高** 二次製品を使用するため優れる。
- 施工性** 現場施工の減少により優れる。

- 経済性**
- 環 境** 従来技術と同等。
- 安全性**

総合評価 ▶ 従来技術より優れる。

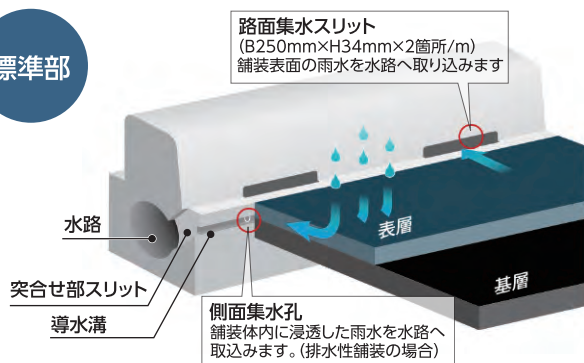


※従来技術：現場打ちL型街渠
※NETIS「活用促進技術」の指定内容(2015.2)

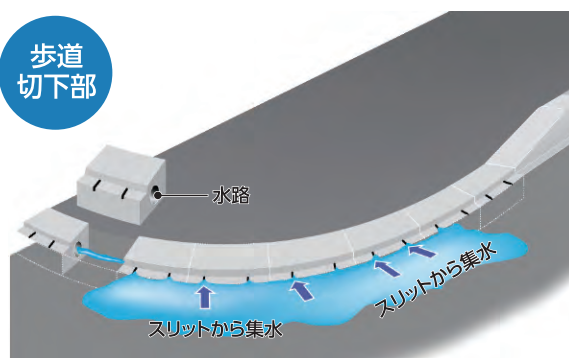
対応例

対応例

標準部



歩道 切下部



標準部



歩道切下部



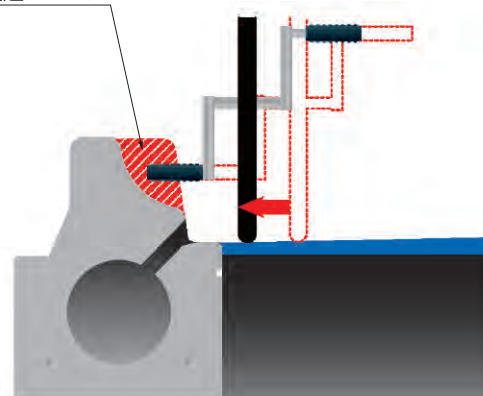
ペダループ

路肩走行の安全性向上

「ライン導水ブロック ペダループ」はペダルの退避スペースを設けた水路一体型の歩車道境界ブロックです。ペダルが縁石に接触しづらく、接触しても転倒しにくい構造です。



ペダルの退避スペース



主要品目

主要品目

擁壁類

河川関連

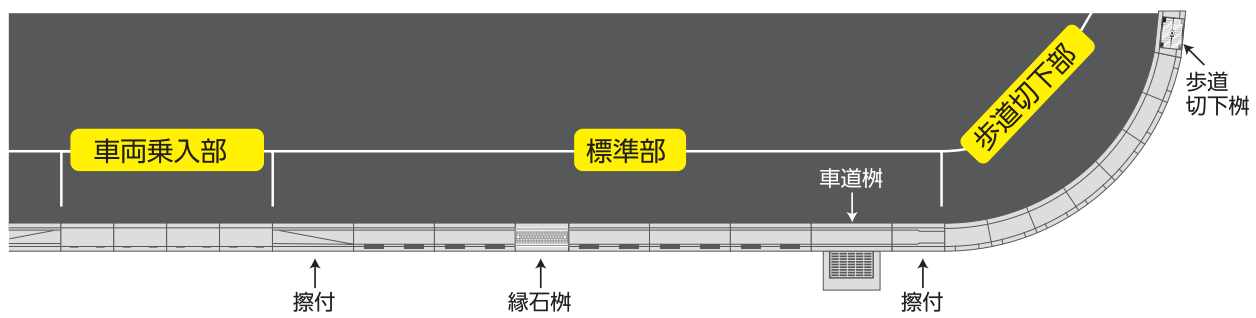
道路関連

管渠類

側溝類

貯水槽関連

景観関連・その他



■標準 A・B φ150・φ200相当 L=1000 A:A種(緑石高さ15cm)、B:B種(緑石高さ20cm)

※点検口はL=600

標準B φ150 標準B φ200 標準A φ150 点検口

■歩車両面集水タイプ

車道側 歩道側

■車両乗入(T-25) φ150 L=600mm テーパー1~5cm段差 フラット5cm段差

※φ200については別途ご相談ください。

フラット5cm段差 テーパー1~5cm段差 点検口

■擦付(車両乗入) φ150 L=1000mm

※φ200については別途ご相談ください。

標準B⇔ テーパー1~5cm段差(左)

■擦付(歩道切下) φ150 L=1000mm

※φ200については別途ご相談ください。

標準B⇔ フラット2cm段差(右)

■歩道切下(T-25) φ125 L=600mm バリアフリー1cm・2cm段差 テーパー0~2cm段差 バリアフリー0~2cm段差(R1.5を除く)

切下部用ブロックは集水口にプラスチック部品を使用して集水機能低下を防いでいます。

R1.5 | R2.5 | R3.5 | R4.5 | R6.0 | R12.0 | 直線 ※φ150あり(直線のみ)

奥へ行くほど広がる形状

バリアフリー 0~2cm段差 フラット2cm段差 点検口(直線のみ)

■アダプターブロック(T-25) φ125 L=600mm

※既設樹への接続が可能です。

フラット2cm段差(右)

ライン導水ブロックF型 歩道切下(R・直線)

スリットから集水

アダプターブロック 歩道切下:フラット1cm・2cmに対応

バイコン製法の特性上、製品表面が粗面となり滑りにくくスリップ転倒事故の危険性を低減します。

▼滑り抵抗値(BPN値)比較…湿潤時

一般的な製品	55程度
ライン導水ブロック	65~90程度

※アスファルト舗装: 60~80
マンホール蓋: 20~40

■緑石樹(A・B) φ150・φ200 L=600mm

緑石樹 φ150

↑蓋の開閉時

■車道樹(A・B) φ150・φ200 (T-25)

車道樹B φ150

■車両乗入樹 φ150 L=600mm (T-25)

テーパー1~5cm段差 フラット5cm段差

※φ200については別途ご相談ください。

テーパー1~5cm段差

■歩道切下樹 φ125 L=600mm (T-25)

フラット1cm・2cm段差 テーパー0~2cm段差 バリアフリー0~2cm段差

フラット2cm段差